

# 阪神高速事業アドバイザー会議 〔第9回〕

## 「2018年度決算報告」

2019年10月31日  
阪神高速道路株式会社

1. 2018年度決算概要	.....	3
---------------	-------	---

## 当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,306億円**（前年同期比+163億円）、営業損失 **4億円**（前年同期は営業利益17億円）、経常利益 **6億円**（前年同期比▲13億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は **35億円**（前年同期比▲22億円）となりました。

当連結会計年度は、相次ぐ自然災害の影響等により営業損失を計上することとなりましたが、関連会社であった4社の連結子会社化に伴う負ののれん発生益の計上等により、当期純利益を計上しました。

事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

### 高速道路事業

- ◆ 料金収入は1,877億円（前年同期比0.9%増）  
※相次ぐ自然災害の影響等により計画額を下回りました。
- ◆ 道路資産完成高は347億円（前年同期比70.7%増）
- ◆ 道路資産賃借料は1,452億円（前年同期比2.4%増）
- ◆ 管理費用は441億円（前年同期比0.1%増）
- ◆ この結果、  
営業収益は2,232億円（前年同期比7.7%増）  
営業費用は2,245億円（前年同期比8.8%増）  
営業損失は12億円（前年同期は営業利益8億円）  
となりました。
- ◆ 高速道路事業営業損失には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業を実施したことによる損失3億円が含まれています。

### 受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、  
営業収益は19億円（前年同期比9.7%増）  
営業費用は19億円（前年同期比14.7%増）
- ◆ この結果、営業損失は30百万円  
（前年同期は営業利益49百万円）となりました。

### その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業等を展開したことにより、  
営業収益は56億円（前年同期比5.1%増）  
営業費用は48億円（前年同期比5.5%増）
- ◆ この結果、営業利益は8億円  
（前年同期比3.2%増）となりました。

# 1. 2018年度決算概要

## 高速道路事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		2019年3月期	2018年3月期	増減
営業収益	料金収入	1,877	1,861	+15
	道路資産完成高 (注)	347	203	+143
	その他売上	7	7	+0
		2,232	2,072	+159
営業費用	道路資産賃借料	1,452	1,419	+33
	道路資産完成原価 (注)	350	203	+147
	管理費用	441	441	+0
		2,245	2,064	+180
高速道路事業 営業利益		▲ 12	8	▲ 20

### 主な増減内容

- 営業収益
  - ・通行台数は、前年同期比0.4%増の一日当たり約76.0万台
  - ・料金収入は、前年同期比15億円増の1,877億円
  - ・道路資産完成高は、営業中路線の改築・修繕工事等の完成等により、前年同期比143億円増の347億円

- 営業費用
  - ・協定に基づく道路資産賃借料は、前年同期比33億円増の1,452億円
  - ・管理費用は、前年同期並みの441億円
  - ・高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業を実施したことにより、これに要した費用3億円を道路資産完成原価に計上

(注)道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

# 1. 2018年度決算概要

## 関連事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

### 主な増減内容

区 分		2019年3月期	2018年3月期	増減
受託事業	営業収益	19	17	+ 1
	営業費用	19	17	+ 2
	営業利益	▲0	0	▲0
その他の事業	営業収益	56	54	+ 2
	営業費用	48	45	+ 2
	営業利益	8	8	+ 0
関連事業 営業利益		8	8	▲0

#### ●受託事業

大阪府道高速大和川線に係る  
工事出来高の増等により、  
営業収益は  
前年同期比1億円増の19億円、  
営業費用は  
前年同期比2億円増の19億円  
となり、  
営業損失は30百万円  
(前年同期は営業利益49百万円)

#### ●その他の事業

営業収益は  
前年同期比2億円増の56億円、  
営業費用は  
前年同期比2億円増の48億円  
となり、  
営業利益は8億円  
(前年同期比26百万円の増)

(注)関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路  
マネジメント事業等を含んでおります。

## 当期連結財務諸表の概要

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表			
区 分	2019年3月期	2018年3月期	増減
総資産	2,948	2,327	+620
流動資産	2,436	1,843	+592
(うち仕掛道路資産)	1,354	1,159	+194
固定資産	512	484	+27
総負債	2,421	1,844	+577
流動負債	1,013	368	+645
固定負債	1,407	1,476	▲ 68
純資産	526	483	+43
株主資本	549	508	+41
資本金	100	100	-
資本剰余金	105	100	+5
利益剰余金	343	308	+35
その他の包括利益累計額	▲ 23	▲ 30	+7
非支配株主持分	-	5	▲ 5

連結損益計算書			
区 分	2019年3月期	2018年3月期	増減
営業収益	2,306	2,142	+163
営業費用	2,310	2,125	+185
営業利益	▲ 4	17	▲ 21
営業外収益	11	2	+8
営業外費用	0	0	+0
経常利益	6	19	▲ 13
特別利益	31	66	▲ 35
特別損失	1	0	+0
税金等調整前当期純利益	36	85	▲ 49
法人税等	1	27	▲ 26
非支配株主に帰属する 当期純利益	-	0	▲ 0
親会社株主に帰属する 当期純利益	35	57	▲ 22

(注) 関連会社であった4社の連結子会社化に伴い  
負ののれん発生益31億円を計上しました。